

アカデミーかわら版

酒井抱一「十二ヵ月花鳥図貼付屏風」より構成

大好評

SDGs フォーラム オンラインで集いました!

「コロナこれからの時代を生き抜くには」9・11 開催

2021年度はアカデミー初の取組としてZoomウェビナーを使い、ご登壇の先生も参加者もオンラインで集うフォーラムとなりました。

第1部は「生態系異変と新型コロナこれからの時代を生き抜くためのニューノーマル社会」について、国立環境研究所 生態リスク評価・対策研究室室長の五箇 公一先生による基調講演でした。



五箇公一先生

生物多様性、そして、人間による自然界の破壊とグローバル化が感染症の背後にあること、動物学的に極めて脆弱な生物である人間はこれからどうあるべきかについて、明快な論旨の講演でした。パワフルでスピード感溢れるお話しぶりに圧倒されながらも一言も聞き漏らすまいと必死に聴き入ったとの感想が、終了と同時に事務局に届きました。

第2部 シンポジウムでは、シンポジストに、東京大学名誉教授 黒木 登志夫先生、東京大学教授 宇野 重規先生、元川崎市経済労働局長 伊藤

和良先生をお迎えしました。五箇先生も加わっていただき、太田 猛彦学長の鮮やかなコーディネートのもとに、各分野でご活躍の先生からメインテーマについてそれぞれのお考えを伺うことができました。医学、政治思想史、そして、地方自治・地域社会、生態学、森林水文学の専門家が一堂に会して分野横断的に討議する空間が展開されたのはまさにアカデミーだから可能になったといっても過言ではないでしょう。5人の先生に、改めて心から感謝の念をお伝えいたします。



太田猛彦先生

太田学長 「シンポジウムを終えて」

シンポジウムは私の拙いコーディネートにも拘らず、シンポジスト4先生それぞれの的を射た話題提供とその後のかみ合ったご議論によって盛り上がり、短時間にも拘らず示唆に富むご提言を頂いて終了したこと、まずは先生方に感謝いたします。特に五箇公一先生には基調講演も含めてコロナ禍の本質を生物多様性と絡めて話され、参加者に感銘を与えたのではないかと思います。また、黒木登志夫先生、宇野重規先生、伊藤和良先生はそれぞれご自分の分野の知見を披露され、多角的にコロナ後の社会での生き方を示して頂きました。また、このフォーラムには予想以上に多くの方に参加して頂きました。皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



黒木登志夫先生



宇野重規先生



伊藤和良先生

2021年9月 理事会開催 9月7日(火) 15時30分～

1) 主な審議事項

- 今年度は第4次中期経営計画(2022-25)の作成を見送る。
- 21年度後期講座・WSの担当役員を決定。
- 川崎市の「かわさきSDGsパートナー」への登録を申請する。

»»» 私たちは4,11,17を目指します。»»»

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2) 主な報告事項

- 今後のNPO経営に関する意見交換について
- 21年度前期収支見込み
- 運営代表世話人会議(8/6)について
- オンライン講座/事業の振り返りと今後について
- 21年度後期受講申込状況



21年度前期運営代表世話人会議の開催

8月6日に、21年度前期運営代表世話人会議が開催されました。会場・オンライン併用での開催でしたが、初めての試みとしてZoomのブレイクアウト機能を用いてオンライン参加者もグループ討論を行いました。当日は、世話人・役員・事務局、太田学長を含め約40名が参加しました。

第I部は、NPOから21前期について、①オンライン併用などへの世話人・オンラインホストの方の協力への感謝、NPOの組織改編による広報・地域連携部会の設置、②今年度30%の受講料値上げ後も感染拡大の影響で財政的に厳しい状況にあること(総務部会から)、③オンライン併用の課題と改善の方向、緊急対応時の告知方法(事業推進部会から)、④SNSやメールでの情報拡散やHPの活用、SDGsフォーラム開催(広報・地域連携部会から)等が報告されました。



グループ討論もやりました

第II部のグループ討論では、各講座・WSの課題として、①テーマ・講師の設定、②オンライン併用の今後の方針と課題解決、③運営世話人の不足、受講生の交流の少なさ、④資料枚数の多さ、会場定員などその他の問題が挙げられました。アカデミーの今後については、①財政的問題(受講生増の工夫、寄附、受講料の設定)、②コーディネーターの交代、③コロナ後のオンライン講座の継続(受講生増のため継続、オンラインの長所を活かせる講座、野外講座で困難がある場合は継続なしを希望、世話人・ホストの負担軽減や改善の必要、本来の生涯学習が疎かにならないように)等の話題が多くありました。貴重なご意見を受けて改善に努めたいと思います。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。(事業推進部会)

かわら版 編集委員募集!!



かわら版は、受講生の皆さまにアカデミーに関する幅広い情報を提供することを目的に、編集委員会メンバーが、企画・作成しています。是非、新たな編集委員の方々と一緒に、より充実したかわら版を発行していきたいと考えています。

お問い合わせはアカデミー事務局(中川職員)まで
かわら版編集委員会

募集
して
います

NPO 正会員募集

NPO 法人かわさき市民アカデミーは、活動の維持・発展にご協力頂く、皆さまの入会をお待ちしています。

入会を希望される方は、アカデミー事務局までご連絡ください。

アカデミーへの寄附金のお願い

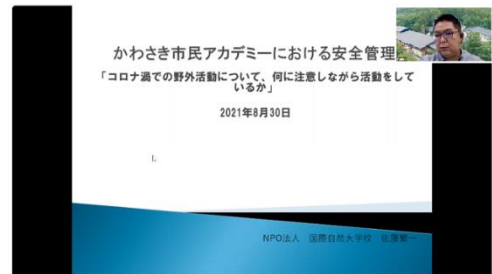
アカデミーの運営経費は受講料と寄附金で賄っています。受講生数は、コロナ禍の影響により21年度前・後期とも平時の状態に回復しておらず、大変厳しい財政状況にあります。受講生の皆様のご寄附をお願いいたします。寄附金

は、多様な講座の維持、オンラインに必要な機器の購入など有効に使わせていただいております。詳細は、11月下旬にご寄附のお願いキャンペーンで配布するチラシをご参照ください。ご協力をお願いいたします。

- 確定申告をすると税額控除が受けられます。
- お問い合わせは かわさき市民アカデミー事務局 Tel 044-733-5590 へ

安全委員会の役割

当アカデミーの特徴の一つは、野外学習を含む講座が多くあるという事です。また、そうした殆どの野外講座では定員オーバーと抽選状態が続いています。こうした野外講座で最も気をつけなければならないのが、参加受講生の安全対策です。野外では自然環境や公園、市街地、施設など幅広い分野での行動になりますので、安全面での対応は幅広いものです。このような安全に対する行動基準やトラブル対応のルール、傷害発生の事例を共有し再発防止を図る事が必要で、毎学期終了後、野外講座担当の世話人代表やサポーターの方々に集まってもらい、「安全委員会」として期間中のトラブル報告、今後の対策を協議、反映を図り、中長期的な課題への対応などを協議しています。



Online で安全管理研修会開催（8月30日）



オンライン講座/事業情報交換会の開催

8月18日に、NPO 役員・参与、事務局、オンラインホストの参加者を得て、オンライン講座/事業情報交換会を開催しました。6月に事業推進部会が行った情報収集の報告があり、現在の全体的な課題は、①通信環境、音声、映像、操作・技術的問題、②事務局、オンラインホスト、世話人への負担、③今後の方向性（コロナ下・コロナ終息後に講座を継続するか、オンライン講座の形式・講座数・目的）、④会場不使用時を含めたシステム

上の問題、⑤より簡便なシステムの模索と財政状況に応じた予算配分と人員・機材の配置でした。また、今後の改善について、コロナ禍の見通しと対応、受講料設定や関係者の負担軽減、オンライン講座の位置づけ、資料送付等について意見交換を行いました。

10月には受講生の皆様への Google form でのアンケートを予定していますので、ぜひご協力をお願いいたします。



受講生（河野さん、八木さん）が川崎市環境功労者表彰を受賞 ～地球温暖化防止対策の推進に尽力されました～



アカデミー受講生の河野和子さん（環境とみどり世話人、音楽Ⅲ世話人、他を受講）と八木洋一さん（環境とみどり元代表世話人）のお二人が、受賞されました。表彰式は6月29日に実施され、まん延防止等重点措置下、地球温暖化防止対策の推進に尽力された受賞者を代表して河野さんが参加しました。おめでとうございます。

🔔 2021年度後期が始まりました！

9月末には、緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ安心できない今日この頃です。受講生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

さて、2021年度後期も新型コロナウイルス感染症対策をしっかりととりながらの開講です。多くのコーディネーター・先生方のご尽力により、充実した51講座・WSをご準備いただきました。

後期の主な特徴は次の通りです。

- ① オンライン併用の30講座・WS、オンラインのみの2講座、対面のみの19講座・WS
- ② 講座「新しい科学の世界Ⅱ」の2020年度後期以来の復活
- ③ 川崎市のコロナワクチン集団接種会場との関係その他による一部講座・WSでの会場や開催日時の前期・前々期からの一部変更

受講生の延べ人数は約2,750人とコロナ前の80%です。新型コロナウイルスと折り合いをつけながら、2022年度にはお仲間が戻ってきてくれることを期待しつつ、後期も学んでまいりましょう。



事務局でもモニターしています

黒木登志夫(くろき としお)先生 川崎市文化賞を受賞 !!

～がん研究とかわさき市民アカデミーの発展に貢献～

黒木先生は、長年にわたって、がん研究に従事され、日本のがん医療の発展に大きく貢献されるとともに、東京大学医科学研究所教授、岐阜大学学長、日本癌学会会長等の要職を歴任され、日本の医学界を牽引してこられました。

サイエンスライターとしても活躍され、多数の著書を発行し、正確な医学情報をわかりやすく解説され、近年では、新型コロナウイルス感染症に関して、感染症の基礎知識や研究の最新情報を伝える活動に積極的に取り組まれています。長年お住まいの川崎市でも、かわさき市民アカデミーの講師として、医学や生命科学全般について、市民にわかりやすく伝える活動に尽力されています。(川崎市ホームページより)

《黒木先生とアカデミー》

2010年度より多数の講座でご登壇いただいています。

2010年度 講座「人間学」

2019年度 講座「いのちの科学」

講座「新しい科学の世界Ⅱ」

2021年度 講座「いのちの科学」

講座以外でもお世話になっています。

2009年には、フェスタでの基調講演

2021年には、SDGsフォーラムに

シンポジストとして参加

編集後記

9月に開催したSDGsフォーラムも盛況の裡に終わり、いよいよ後期が開講しました。新型コロナ対策をとりつつ、受講生の皆さまとともに学習に励みたいと思います。

この夏には、黒木登志夫先生の川崎市文化賞受賞、受講生2名の川崎市環境功労者表彰と嬉しいニュースが飛び込んできました。良いニュースがあればご連絡ください。かわら版に掲載させていただきます。(かわら版編集委員)

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話 044-733-5590 FAX 044-722-5761

問合せメールアドレス

info@npoacademy.jp/

<http://npoacademy.jp/>

HP

